

梨の花

市川市立稲荷木小学校

〒272-0024 市川市稲荷木1-14-1 Tel 376-5961
http://www.toukagi-syo.ichikawa-school.ed.jp

健康に気を付けて再スタートを！

校長 清田 博之

昨年度とはちがい 42 日間もの長い夏休みとなりましたが、保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしのことでしょうか。メディアでは、連日「コロナパンデミック」に関する厳しい報道が流れています。こういう切羽詰まった環境に置かれるといろいろな意見を耳にすることが多くなります。「医療機関は救わなければならない命を救っていない」、などという声も聞こえてくる一方、逆に「コロナなど唯の風邪だ。餅をのどにつまらせて死ぬ人数と大差ない。」「ワクチンは、毒だ。人減らしの陰謀だ」などという意見も聞きました。

私は、実際に自分の目と耳で、寝る間も惜しんで自らの命を削りながらも奮闘をしている医療関係者の方々やワクチンの研究に取り組んでいる研究者の方々、一人でも多くの患者さんに確かな治療を受けてもらうべく奮闘をしている保健所や役所の方々を見てきました。「感謝」や「ありがとうございます」という言葉さえ「とても軽いな」というのが私の実感です。

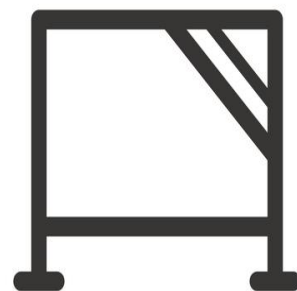
今、学校としてしっかり取り組まなければならないことは「確実な児童の健康管理」です。これは、単なる「感染症への対応」に留まりません。「生活のリズムの乱れ」による体の不調、マスクをつけ続ける生活からくる健康への悪影響（マスクは必要で、ある程度の効果があると思っていますが、体に、特に小学生のような成長期の児童にいい影響があるわけがありません。）、さらには「交友関係のトラブル」が要因の精神的ダメージからくる体調不良も含まれます。

学校では、以下の点に配慮してまいります。

- ・手洗い、消毒、換気のより一層の徹底。
- ・音楽の学習時における飛沫対策。
（PTAのご協力を得て、用意することができました。）⇒
- ・児童自身が健康で安全な生活を過ごす判断ができるよう学級指導を徹底する。

保護者の皆様におかれましては、引き続き以下の点にご協力をお願いします。

- ・同居の家族全員の健康状態を常に配慮し、家族の誰か一人でも風邪等の症状が少しでもみられる場合には登校を控える。
（引き続き、朝晩の体温チェックをお願いします。）
- ・早寝・早起き・朝食をしっかりとするなどの健康的な生活リズムの維持を心掛け抵抗力のある体をつくる。



音楽の歌や楽器の演奏時に使用します。ビニール布で前方・左右をガードします。



校外学習と 2 学期実施の校内行事・学校生活について

市川市教育委員会・校長会の協議により校外学習については以下とおり実施します。

☆千葉県に**緊急事態宣言**が発令されている期間中の校外学習について

- ・5年生の林間学校・全学年の日帰り社会科見学は実施不可

（本校は「延期」で考えておりますので、「延期」により実施した場合はキャンセル料は、かかりません。）延期ができなくなった場合のみキャンセル料が発生します。

◎9月16日実施予定の「**3年 市内巡り**」、17日実施予定の「**6年 鴨川シーワールド**」の校外学習は**緊急事態宣言の延長の可能性を考慮し延期**とします。延期の時期は未定。

- ・6年生の修学旅行は、県外は不可。県内だけ実施可能。

（本校の場合、「日光」が不可になった場合は、再度、**期日を検討**する、若しくは、一旦期日変更の後に**県内に行き先を変更**して実施することを検討しています。）

※緊急事態宣言が解除され、蔓延防止措置の場合は予定通り実施いたします。

※5年生の林間学校の宿泊施設は、7月からの延期により単独で本校が使用可能になったので、できるだけ多くの部屋を使用して「密」を避けます。

※バスの台数を増やすことで、例年よりも割高になる場合もあります。ご了承ください。

☆他の校内行事について

- ・現段階では、予定通りの実施を考えております。
- ・市内音楽会は文化会館の改修工事により、年度当初の予定通りブロックごとの開催となります。

※感染状況により、授業参観や懇談会をオンラインで実施することもあります。

☆感染症による休校措置について

現在のところ、市川市では昨年度のような「市内一斉休校」は考えておりません。

しかし、「デルタ株」が主流になってからは児童の感染者数も非常に増加していることや、保健所がひっ迫して濃厚接触者の特定に時間がかかり、状況確認のための学級閉鎖が頻発することなども予想されます。2週間程度の学年閉鎖や休校も覚悟しなければならないと考えております。学校としては濃厚接触となる場面を極力つくりずクラスターをさけることが重要だと考えております。

また、クラスターになった場合のオンライン学習や分散登校なども現実味を帯びてきました。4年生以上には、1人1台タブレットが配付されます。できるだけ早い段階で、この使い方に慣れ、少なくともドリル学習で使えるようにしていきたいと考えております。まだまだ落ち着かない日々が続きますが、保護者の皆様と連携をし「学びを止めない」よう努力してまいります。

